

# 訪問入浴介護の機材は何を使うの？

## 移動入浴車のしくみ

### 主な装備品

#### ●ポンプ

お湯を浴槽までおくります。

#### ●ボイラー

お湯を沸かします。

#### ●貯水タンク

サービスで使用する水を貯めます。

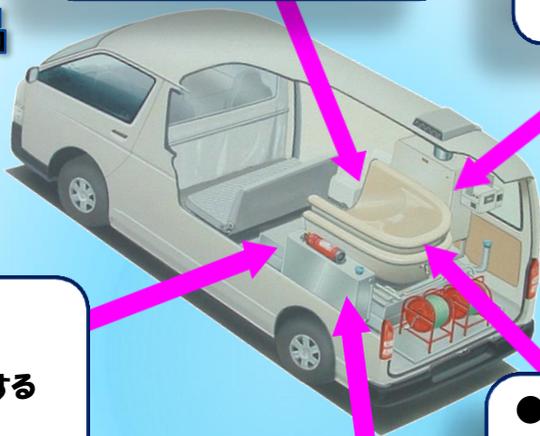
#### ●灯油タンク

ボイラーの燃料を入れます。

#### ●浴槽・タンカ

ご利用者様のお部屋まで伺います。

訪問入浴介護に必要な機能をオールインワン!!  
ご利用者様のお宅からは電力とお水だけをいただきます。他の物品は全て搭載しています。



## 訪問入浴介護用タンカのしくみ



寝ながら入浴できるため、身体への負担を最小限に入浴できます。

### タンカの備品

#### ●タンカネット

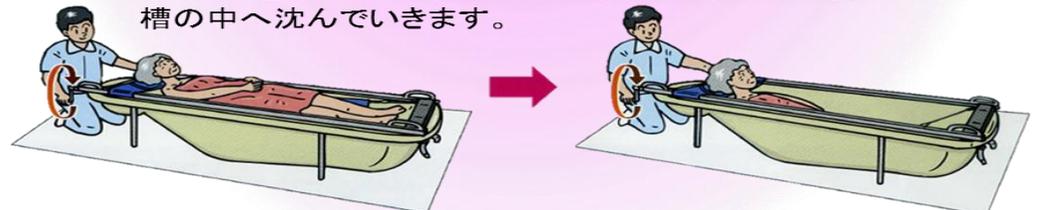
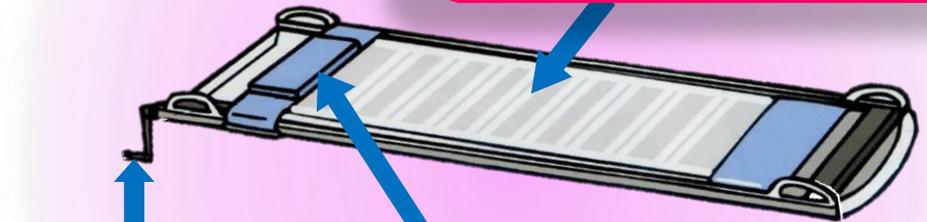
タンカ用のネットです。  
ご利用者様ごとに交換、洗濯しますので、いつでも清潔です。

#### ●ハンドル

ハンドルをゆっくり廻すと、タンカネットが下がり、身体が浴槽の中へ沈んでいきます。

#### ●枕

水に濡れても大丈夫な専用の枕です。



出浴する際は逆の方向に、ハンドルをゆっくり廻すとタンカネットが上がり、ご利用者様が浴槽の上へあがっていきます。



## 食欲がない時にはゆるめのお湯でゆったいとバスタイムを!!

### 自律神経とは

身体中に張りめぐらされている「自律神経」。内臓や血管、瞳孔、汗腺などの働きは、自律神経によってコントロールされています。心臓の動き、血圧、食べ物の消化、体温の調節など、生命を維持するうえで重要な体の機能をコントロール。自律神経には**交感神経**と**副交感神経**という2つの神経から成り、互いに拮抗し合って体を調節しています。私たちが健康で快適に過ごせるのは、それぞれがバランスよく働いているからです。

暑い日が続いたりするとどうしても食欲がなくなります。このような食欲がないとき、皆様どうされますか？そうめんなどの食べやすい麺類を食べたり、逆に精が付くなぎなどを食べたりして食欲不振を予防することがとても有名ですが、実は「お風呂」でも食欲不振を解決することができるのです。

入浴中は、お風呂の温度によって**自律神経系**の反応が変化します。42℃以上の「高温浴」では、『**交感神経**』が優位にはたらき、37～39℃の「微温浴」では『**副交感神経**』が優位にはたらきます。

この自律神経系の反応は、消化のはたらきにも大きく関係をしてきます。自律神経系の反応によって消化のはたらきは、交感神経なら抑制され、副交感神経ならば促進されます。つまり、高温浴をすれば消化が抑制され、微温浴をすれば消化は促進される、というわけです。

ところで食事直後の入浴は、良くないと耳にすと思いますが、なぜ良くないのでしょうか？食後は、消化吸收のため活発にはたらく胃や腸に血液が集まります。この状態での入浴は消化器官が必要とする血液の不足を招き、消化・吸収のはたらきが低下しています。そのため、食後1時間程度の休息をとってから入浴すると良いでしょう。また、食後の入浴は、副交感神経を刺激して胃腸のはたらきを活性化させる「微温浴(37～39℃)」がおすすめです。

その他にも、便秘気味のご利用者様には微温浴で副交感神経を優位にはたかせることによって、胃腸のはたらきが促進されます。便秘の解消には手のひらを腹部に当て、大腸の道筋に合わせて時計回りに十回程度回すマッサージも効果的です。

このように、入浴と消化の関係は体調を整えるうえでもとても重要になります。入浴が消化に与える影響を理解し、効果的な入浴を行いましょう。

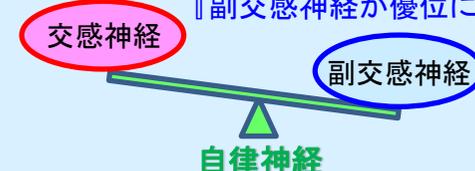


『交感神経が優位になると』



仕事や運動中などの時、活発になる。身体への働きとして呼吸が速くなる、心臓の動きが速くなる、血管が収縮する、血圧が上がる、胃腸の働きを抑えるなど。

『副交感神経が優位になると』



就寝時などに活発になり心身がリラックス状態に。呼吸が遅くなる、心臓の動きが遅くなる、血管が広がる、血圧が下がる、胃腸の働きを活発にするなど。

訪問入浴介護へのお問い合わせはこちらまで